



NBRP-nenkin news_No. 15

2022/10/11

発行：NBRP細胞性粘菌

Top news

第5期NBRP事業の開始!

継続的なユーザーの皆様のご支援により、昨年度終了した第4期NBRP細胞性粘菌に引き続き、今年度4月から第5期NBRP事業がスタートすることができました。現在受付を開始しております。第5期では代表機関を理化学研究所・BDRから筑波大学に戻し事業を開始しました。第5期では、分担機関を置かず代表機関のみの運営になります。今後ともユーザーの皆様のご支援が細胞性粘菌NBRPの原動力になりますので、より一層のご支援をよろしくお願いいたします。特に第5期におきましては、一層のリソースの充実のみならず、ユーザーやコミュニティといった日本の細胞性粘菌研究の厚みを増すことを目標を掲げていますので、新規ユーザーの取り込みに力を入れていきたいと考えております。そのためのご意見、方策、アイデアがありましたら些細なことでも結構ですとお寄せいただきますようよろしくお願いいたします。また、ユーザーの皆様方も細胞性粘菌の研究リソースとしての良さをそれぞれの持ち場・立場で大いに宣伝していただき、細胞性粘菌リソースの有効活用・コミュニティの拡大にご協力いただければと思います。そのために、第5期におきましては、TwitterとFacebookを立ち上げました。最新の情報やお役立ち情報はこちらでもどんどん発信していきます。

まだまだコロナ感染によりリソース事業の展開におきましても制限がある状況ですが、今後も継続的な細胞性粘菌リソースの収集・保存・提供を確実に進め、これまで好評であったトレーニングコース・オンデマンドトレーニングコースを継続し、NBRP細胞性粘菌の利便性を向上できるよう努力してまいります。皆様方に置かれましては、NBRP細胞性粘菌リソースを利用した優れた研究成果を世に出していただくと同時に、開発されたリソースの寄託、新規ユーザーの開拓へのご協力をお願いいたします。（代表機関：筑波大学）

Dicty Stock Center (DSC)からの代行取り寄せ!

DSCから必要なリソースをご連絡ください。NBRPで取り寄せ、品質チェック後、分譲いたします。取り寄せたリソースはNBRPに整備します。



Twitter



FaceBook

Resource updates

多様なCRISPR/Casベクターが寄託されました!

東邦大学 村本博士によりCRISPR技術を用いた様々なゲノムワイドなゲノム編集ベクターが寄託されています。

詳しくは、NBRP細胞性粘菌にお問い合わせください。

裏面に続く

野外採取株を多数取り揃えています!

有用化合物の新たなリソースとして細胞性粘菌が注目されています。これまでに多くの研究者から細胞性粘菌の野外採取株が寄託されています。rDNA配列を用いた種同定の情報を合わせて公開しています。“natural isolate”でNBRP細胞性粘菌ホームページの「株リソース」を検索ください。皆様の研究に是非お役立てください。

News Digest

株リソース、遺伝子リソース共に、NBRP細胞性粘菌ホームページを通じてオーダーできます!

<http://nenkin.nbrp.jp>



皆様の研究室で開発された株、遺伝子リソースの寄託を受け付けています。一度、NBRP-nenkinに寄託していただければ、当方で保存や利用希望者への分与を行います。是非、皆様の貴重なリソースをコミュニティで共有し、研究に役立てましょう。

また、「収集して欲しいリソース」を皆様から募集しています。どんどん、下記のメールまでご連絡ください。

nbrpnenkin@shigen.info

NBRP細胞性粘菌 オンデマンドトレーニングコース開催中

日程：NBRP実施機関と調整 適宜開催 開催場所：筑波大学・第2エリア地区内

応募・問い合わせ先：筑波大学生命環境系 桑山 秀一

TEL：029-853-4664 e-mail: nbrpnenkin@shigen.info

皆様の都合のつく日時にNBRP細胞性粘菌実施機関（筑波大学）に来ていただき、必要な研究手法のトレーニングを致します。

ご希望の方は、所属、氏名、連絡先（メールアドレス）、希望される日時とトレーニング（実験）内容をご記入の上、上記のメールアドレスまでご連絡ください。

第10回日本細胞性粘菌学会例会（オンラインワークショップ開催）

2020年10月9日 オンライン開催

NBRP事業について：桑山 秀一（筑波大学）

新規ユーザー講演：濱 祐太郎先生（北海道大学）

濱先生はオートファジー研究で優れて業績を上げられている若手の研究者です。これまでのご研究をご説明いただくとともに、オートファジー研究分野において細胞性粘菌の研究リソースの利点をご紹介いただきました。

有用リソース紹介：村本 哲哉先生（東邦大学）

村本先生は細胞性粘菌において、世界で最初にゲノム編集技術を確立された第一人者であり、ゲノム編集ベクターを中心に現在世界中から先生の開発したリソースの提供依頼が来ています。本ワークショップではCRISPRによるノックアウトやノックインから大規模スクリーニングの具体例についてご講演いただきました。

第44回日本分子生物学会年会（実物展示予定）

2022年11月30日～12月2日 幕張メッセ

日本分子生物学会でNBRP主催の実物展示を予定しています。お近くの研究者の方々に宣伝をお願いいたします。